

事業報告書

まえがき

平成24年度は、当センターにとって、公益財団法人としての初年度であり、公益目的事業及び収益事業等という新たな事業区分に沿って各種事業に取り組みました。

事業運営に当たりましては、円高やデフレ状況の継続、世界経済の減速、隣国との領土問題などの社会経済環境を踏まえ、県内産学官34機関が結集する「とちぎ産業振興ネットワーク」の中核的支援機関としての機能強化を図り、下記の重点目標に沿って県内中小企業の実情に応じた支援に努めて参りました。

- 1 企業との対話、現場への訪問を通じて、真の企業ニーズを把握し、迅速かつ的確な支援の充実
- 2 地域の大学や金融機関、商工団体等とのさらなる連携・協力による中核的支援機関としての機能強化
- 3 情報の共有と自由闊達な議論により、自ら考え、行動し、自己革新を続ける職場風土の醸成

具体的には、創業や経営革新の支援、地域資源の活用や農商工連携等による新商品・新サービスの研究開発助成、産学官金の連携、人材育成、情報化、販路開拓、知的財産活用などの各種事業を推進するとともに、外国出願支援事業などの新規事業や、大手家電メーカーの事業縮小に伴う特別相談窓口の設置にも取り組みました。

さらに、12月には「経営革新等支援機関」の認定を受け、新政権下における国の緊急経済対策にも積極的に取り組んで参りました。

この結果、平成24年度の事業計画は概ね達成できましたが、今後とも栃木県をはじめ関係機関との連携を密にして、一層の企業支援に邁進して参ります。

各事業の実施状況につきましては、次のとおりです。

I 公益目的事業

(公1) 創業や新分野展開などの新事業の創出促進を図る事業

1 総合相談事業

(1) コーディネート活動促進事業

新事業起こしや経営革新に取り組む企業等への支援を効果的に実施するため、企業等からの総合的な相談窓口としてマネージャーを配置した。

相談状況

項目	業 種						計
	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス	その他*	
H24.4～ H25.3	949 (48.2)	60 (3.0)	113 (5.7)	110 (5.6)	354 (18.0)	383 (19.5)	1,969 (100.0)

注： () 内は構成比 2 *印は、個人・産業団体等

項目	主 な 相 談 内 容								計
	経営全般	マーケティング	資金	法律	技術	ビジネスプラン	IT	その他*	
H24.4～ H25.3	572 (16.6)	932 (27.1)	396 (11.5)	35 (1.0)	392 (11.4)	271 (7.9)	35 (1.0)	804 (23.5)	3,437 (100.0)

注：1 () 内は構成比

2 相談者の相談内容が複数分野にわたる場合もあるので、属性別件数と一致しない。

3 「その他」は、労務、会社設立、特許、事業提携、税務、ISO、省エネ、取引適正化である。

2 新事業創出の促進

(1) 創業準備支援事業

県内の創業希望者に対して、各種相談、事業計画の作成支援などにより創業を促進した。

① 創業希望者交流サロン（創業実践相談会を含む。）

回	開催月日	参加者数	内 容
1	7月 8日	14名	講演 「創業して必ず成功するために知っておいてほしいこと」 ランチ交流会
2	8月26日	12名	ミニ創業塾 「創業の心構え『自分の思いを創業で実現しよう!』」 創業実践相談会
3	9月30日	10名	ミニ創業塾 「これだけは知っておきたい創業の実務基礎知識」 創業実践相談会
4	10月21日	8名	グループ討議 創業実践相談会

② 創業サポートアカデミー

創業を強く希望する者10名を募集し、ビジネスプランの練り上げを支援するほか、専門家が経営実務に関するアドバイスをを行った。

回	開催月日	参加者数	内 容
1	1月13日	6名	講義：経営ビジョン・経営戦略の構築
2	1月20日	5名	個別相談（経営全般） 専門家相談会
3	1月27日	6名	個別相談（マーケティング） 専門家相談会
4	2月 3日	6名	金融機関職員等へのプレゼンテーション

(2) 新事業支援強化事業

① ベンチャーオフィス連携強化事業

県内のBI（ビジネスインキュベーション）関係者が連携し、各施設入居企業を支援した。

入居企業に対する相談・アドバイス 38企業

入居審査会・運営委員会 5回

定例会の開催 10月29日 とちぎ産業交流センター 小研修室

合同研修会の開催 12月25日 合同研修会（インスクエア池袋 視察）

(3) インキュベート・研究開発室運営事業

創業や新たな研究開発に取り組む企業等の初期投資軽減を図るため、交流センター貸事務室を借り受け、入居料の一部を助成した。

4月～6月	入居企業：7企業・8室	助成企業数：4企業・4室
7月～ 8月	入居企業：6企業・7室	助成企業数：3企業・3室
9月	入居企業：6企業・8室	助成企業数：3企業・3室
10月～12月	入居企業：6企業・8室	助成企業数：2企業・2室
1月～2月	入居企業：7企業・9室	助成企業数：3企業・3室
3月	入居企業：7企業・10室	助成企業数：3企業・3室

(4) 新事業活動ネットワーク形成支援事業

新事業活動に取り組む事業者を対象とした交流会をテーマ別に開催し、新事業活動における企業間ネットワークの形成を促進した。

回	開催月日	参加者数	内 容
1	7月20日	31名	講演：「異業種との連携による事業展開について」 講師：兵庫県立大学大学院 客員教授 勝瀬典雄氏 意見交換 各企業が今後どのような事業展開を考えているか。 当会に期待すること。 コーディネーター：勝瀬典雄氏

回	開催月日	参加者数	内 容
2	10月17日	16名	講演：「地域の魅力ある地域資源や商品を伝えるには」 講師：日本放送作家協会元理事 栗田進二氏 意見交換 異業種の参加者がどのように連携して事業化するか コーディネーター：勝瀬典雄氏 アドバイザー：栗田進二氏
3	1月30日	21名	講演：「事業連携に向けて 具体的に」 コーディネーター：勝瀬典雄氏 意見交換 ・事業連携部会 ・商材活用及びビジネス創造部会
4	3月21日	13名	講演：「事業連携に向けての具体的な活動について」 コーディネーター：勝瀬典雄氏 意見交換 ・事業連携部会 ・商材活用及びビジネス創造部会

(5) とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業（創業・新事業展開推進事業）

中小企業者及びそのグループ、産業支援機関等が行う、地域社会と密接に関わる商業・サービス業等の創業や新たな事業展開に要する経費の一部を助成した。

助成状況

No.	企業名	事業区分	事業名称	助成額 (千円)
1	新関東観光(株)	地域資源活用スタートアップ事業	足尾銅山の歴史を伝えるデジタル博物館構想の研究開発	1,706
2	(株)アソシエグリーンファーム	地域資源活用スタートアップ事業	県産そばを活用した、新たな和・洋菓子製品の開発	1,926
3	(有)マルトモ食品	地域資源活用スタートアップ事業	県産ヤシオマスを利用した押し寿司の開発及び賞味期限の改善	2,000
4	(株)日昇堂	地域資源活用スタートアップ事業	栃木県産の米粉を使用した「ほろほろクッキー」等の開発	2,000
5	(株)UCN	地域資源活用スタートアップ事業	宇都宮牛を使った「宇都宮バーガー」の開発	942
6	笠原産業(株)	地域資源活用スタートアップ事業	栃木県産小麦「イワイノダイチ」を使用した高付加価値半生麺の開発	141
7	島崎酒造(株)	地域資源活用スタートアップ事業	地域資源を活用したリキュールの新商品開発	830
8	(株)庵	創業支援事業	栃木県産小麦を使用した製菓・製パン店の経営	360
9	スリーアクト	創業支援事業	「宇都宮市を夢が叶う街へ」女性の起業支援と地元事業活性化	578
10	茂木町中心市街地活性化実行委員会	商店街・温泉街の活性化助成事業	もてぎうまいもの市B級グルメメニュー開発研究事業	705
11	足利商工会議所	商店街・温泉街の活性化助成事業	足利銘仙プロジェクト事業	926
12	(株)那須クリエイト	建設業新分野進出助成事業	個別浄化槽鉄筋コンクリート用レベル調整型枠「ハイジャスター」開発事業	2,000
計				14,114

(6) ビジネスプラン応援事業

事業可能性評価を受けた事業計画については、市場調査／コンサルティングの利用について補助を行った。

- 事前相談 8月20日（1企業）、9月14日（2企業）
- 支援企業数 2企業
- 調査結果報告会 1月22日（2企業）

(7) 販路支援事業（市場展開支援事業）

新しい商品やサービスの市場展開を支援するため、販路開拓の実務経験を有する商社OB等で構成するNPO法人と連携し、取引先の紹介や市場展開に関するアドバイスを実施した。

- ① 個別支援 1企業 1回
- ② 無料相談会 2回（6月25日） 相談企業数 5企業
（11月7日） 相談企業数 7企業

(8) 貿易相談事業

海外に取引を拡大をしようとする企業のための相談事業を実施した。

- ・相談日数 12日（月1回）

相談状況

相談件数	相談事例
39件	<ul style="list-style-type: none">○ ベトナム・ホーチミンの伊藤忠系の工業団地のレンタル工場に進出することを考えている。今後はミャンマーにも進出したいが何か注意点はるか。○ 浅漬けやキムチの輸出を検討しているが、初めてのことでどのように進めていけばよいかわからないのでアドバイスして欲しい。○ 現在中国から石材を輸入しているが、工場との間に代理人が入っている。今後代理人を通さずに輸入するためにはどうすればいいか。○ エジプトに中古の建機を輸出したところ、船会社に輸入禁止項目ということで、揚げ荷を拒否された。どう対応していけばよいか。○ スロバキアからのDMに迂闊にもサインして送り返したところ、請求書が送られてきた。詐欺ということだがどう対処すればいいか教えて欲しい。

(9) 企業OB活用「メンターグループ」事業

研究開発や経営に関する豊富な経験を有する企業OB等をメンターとして登録し、企業が抱える様々な課題に対し、現場においてアドバイスや指導を行った。

- ・登録メンター数 86人（3月31日現在）

派遣企業数	支援事例
51企業	<ul style="list-style-type: none">○メグスリノキで新たな商品開発○エコアクション21認証取得○営業力強化による取引先との関係強化（取引先情報や売上推移などを整理し、新たな営業の仕組み作り）○フリーペーパー事業における資金繰り及び今後の事業展開の方向性○安全衛生活動における従業員の意識向上を目的とした全従業員講習会

(10) 中小企業応援キャラバン事業

地理的・時間的な理由により、振興センターの利用が難しい中小企業の相談に応じるため、県内地域に相談チームを（中小企業応援キャラバン）を派遣した。

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① 4月17日 鹿沼商工会議所 | ② 6月26日 日光商工会議所 |
| ③ 7月6日 那須信用組合 | ④ 8月23日 烏山信用金庫 |
| ⑤ 8月24日 足利銀行 | ⑥ 9月19日 大田原信用金庫 |
| ⑦ 9月25日 那須信用組合 | ⑧ 11月13日 真岡商工会議所 |
| ⑨ 2月19日 足利銀行 | |

(11) 地域需要創造型等起業・創業促進事業

起業・創業を促進し、地域の新たな需要の創造や雇用の創出及び地域経済の活性化を図ることを目的とし、3月22日から地域事務局として事業開始した。

- ・ホームページやメルマガ等による広報
- ・県内金融機関への情報提供及び協力依頼 3月25日～3月29日（11金融機関）

(12) 産業振興ネットワーク運営事業

振興センターを中核的支援機関とする34の支援機関相互の情報交換を行うとともに、支援の具体的事業の展開や調査・研究を行った。

- ・本会議・担当国会議 3月15日
- ・部会 資金調達支援部会 2月3日
- 研究開発支援部会 11月5日、11月14日、11月20日、2月18日
- 創業支援部会 3月12日
- 販路支援部会 3月13日

3 重点5分野の産業振興

(1) とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業（特定振興産業分野助成事業）

特定産業振興協議会又はフードバレーとちぎ推進協議会の会員である中小企業者等が行う技術の高度化、新技術・新製品の開発、販路開拓のために要する経費の一部を助成した。

助成状況

No.	企業名	事業区分	事業名称	助成額 (千円)
1	(有)プライムエンジニアリング	技術高度化助成事業	マイクロ波加熱併用の食材乾燥装置の研究開発	3,052
2	(株)アグリフォース	技術高度化助成事業	臭気低減高速堆肥化装置の開発	323
3	(株)アール・ティ ー・シー	技術高度化助成事業	身体診察用「触診シミュレータ」の新規開発	4,481
4	(有)三愛金型	技術高度化助成事業	食器洗浄機洗浄ノズルの開発	1,004
5	第一酒造(株)	販路開拓助成事業 (展示)	新たに開発した「炭酸ガス入り清酒」の流通試飲及び栃木の地酒「開華」販売促進	368

No.	企業名	事業区分	事業名称	助成額 (千円)
6	株テツカクリエート	販路開拓助成事業 (展示)	2012年国際航空宇宙展(ジャパンエアロスペース2012/JA2012)出展事業	1,142
7	株湯原製作所	販路開拓助成事業 (展示)	2012年国際航空宇宙展(ジャパンエアロスペース2012/JA2012)出展事業	447
8	株マツモトセイコー	販路開拓助成事業 (展示)	2012年国際航空宇宙展(ジャパンエアロスペース2012/JA2012)出展事業	1,186
9	株石井機械製作所	販路開拓助成事業 (展示)	2012年国際航空宇宙展(ジャパンエアロスペース2012/JA2012)出展事業	911
10	トーマイダイヤ株	販路開拓助成事業 (展示)	2012年国際航空宇宙展(ジャパンエアロスペース2012/JA2012)出展事業	525
11	エーシーエム栃木株	販路開拓助成事業 (展示)	2012年国際航空宇宙展(ジャパンエアロスペース2012/JA2012)出展事業	427
12	株トライターム	販路開拓助成事業 (品質)	医療機器製造拡販を目的としたISO13485認証取得	1,400
13	株スズキプレシオン	販路開拓助成事業 (展示)	MEDTEC JAPAN2013	557
14	株ディード	販路開拓助成事業 (展示)	2013国際医用画像総合展出展事業	404
	計			16,227

(2) 現場改善事業

特定産業振興協議会の会員企業に対し大手企業の専門職員等を派遣し、生産管理など現場改善の指導を実施した。

指導状況

No.	企業名	派遣決定 年 度	改善テーマ	派遣回数
1	錦正工業株	H22	出来高管理と生産管理、体質改善	2
2	栃誠工機株	H22	5Sを行いムダの排除 効率の良い生産方式の習得	1
3	株三洋製作所	H23	三洋生産方式の確立	12
4	協立機興株	H23	2Sを行い、ムダを排除し、現場の見える化の推進 生産性の向上 人財を育成し、現場力の底上げを行う。	11
5	オグラ金属株	H23	全社OP S(オグラプロダクトシステム)活動のレベルアップ	13
6	株古口工業	H23	工程間の繋ぎ改善による在庫削減	11
7	(有)大垣ダイカスト工業	H24	生産性の向上と従業員の意識改革	9
8	株京葉サンビーム	H24	生産性向上及び2S	7

(3) 成長産業振興・発展対策支援事業（広域）

栃木県、茨城県及び群馬県の広域で策定した首都圏北部地域産業集積活性化ビジョンに基づき、広域連携により産業集積の形成及び活性化を目指したフォーラム、研究会の開催等を行った。

フォーラム等開催状況

フォーラム等名	開催月日	会 場	参加者数	内 容
医療機器産業フォーラム	8月31日	宇都宮大学アカデミアホール	91名	<ul style="list-style-type: none"> ○「医療機器産業参入の課題と最近の政策動向」(東京大学公共政策大学院 特任教授 大西昭郎 氏) ○「医療機器産業の状況と参入について」(トーイツ㈱ 監査役 古川孝 氏) ○「医療機器産業における参入分野と出口戦略」(㈱ドゥリサーチ研究所 代表取締役 西尾治一 氏) ○意見交換「医療機器産業への参入や研究開発で成功する秘訣」
医療・介護ロボット研究会	9月28日	栃木県庁足利庁舎401会議室	62名	<ul style="list-style-type: none"> ○「効率的なロボットの構築法について」(群馬県立群馬産業技術センター 計測係長 細谷肇 氏) ○「医療・介護分野におけるロボット技術の応用ー中小企業の今後の役割」((独)産業技術総合研究所サービスロボティクス研究グループ長 松本吉央 氏) ○「サービスロボット安全技術・標準化について」(群馬大学大学院工学研究科 准教授 安藤嘉則 氏)
次世代自動車研究会(第1回スマートビークル研究部会)	10月25日	㈱とちぎ産業交流センター大会議室	92名	<ul style="list-style-type: none"> ○「次世代自動車と部品メーカーの取り組み」((一社)日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島正秀 氏) ○「平成24年度モーターインバーター研究部会の紹介」(㈱ひたちなかテクノセンター 担当者)
次世代自動車研究会(第2回スマートビークル研究部会)	平成25年1月18日	㈱とちぎ産業交流センター大会議室	69名	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車開発の動向～モジュール化、軽量化について～((一社)日本自動車部品工業会 技術担当顧問 今井英二 氏)

4 フードバレーとちぎの推進

(1) フードバレーとちぎ農商エフアンド活用助成事業

中小企業者等と農林漁業者との連携体による新商品等の開発、創業、販路開拓等に要する経費の一部を助成する。また、支援機関が行う農商工連携体の取組を支援するために要する経費の一部を助成した。

助成状況

No.	連携体等名	事業区分	事業名称	助成額 (千円)
1	(有)仲田園芸 (株)食メディア	新商品等開発 支援事業	栃木産農産物を使った生産者の顔の見えるコンフィチュールの開発	598
2	(株)とちぎ田舎倶楽部 農業生産取引法人あわの農園株式会社	新商品等開発 支援事業	栃木県産の完熟規格外野菜を使った“ドライベジタブル”の企画・製造・販売	2,385
3	(株)ゆかりファーム 月星食品(株)	新商品等開発 支援事業	未食部分を利用した高機能ブロッコリーソースの開発事業	1,860
4	(株)スクラムフーズ 山野井農園	新商品等開発 支援事業	栃木県産農産物を使った生産者の顔の見えるトマトジャムの開発	597
5	(有)早見食品工業 古谷農産	新商品等開発 支援事業	「栃木県産の完熟小麦粉を使用した極上麺（うどん・ひやむぎ・中華麺）の開発・販売	123
6	(株)野州たかむら 渡辺 清	新商品等開発 支援事業	大田原市特産ウドに含まれるクロロゲン酸類を配合する「与一くんウド飴」の試作品開発	2,425
7	金田果樹園 (株)横倉本店	新商品等開発 支援事業	完熟にっこり梨を利用した新商品（にっこり梨ジュース・ゼリー・サイダー）の開発	1,316
8	社会福祉法人明光シズヒロ会 (株)日晃	新商品等開発 支援事業	栃木県産紅あずまとそば粉、かんぴょうを使ったスイートポテト風菓子の商品開発	1,353
9	(有)とん太ファミリー 広田果樹園	新商品等開発 支援事業	食肉加工における未利用地域農産物の研究と商品開発	171
10	(株)栃木リビング 新聞社 シェフズ(株) 宇都宮農業協同組合	新商品等開発 支援事業	宇都宮産の「梨」をメイン素材とした「にっこり梨をたっぷり使った宇都宮ご当地カレー」（仮称）の業務用ルー及びレトルト商品の開発	2,498
11	(有)釜屋 サンファーム・オオヤマ(有)	販路開拓支援 事業	栃木市産トマト入りハヤシライスのレトルト商品セットの販路開拓 展示会名：第48回大阪インターナショナルギフトショー2012秋	1,186

No.	連携体等名	事業区分	事業名称	助成額 (千円)
12	(株)横倉本店 (有)ジョセフィンファーム 鳳鸞酒造(株)	販路開拓支援 事業	県産乳製品を用いたヨーグルトリキュール商品の販 路開拓と商圏の拡大 展示会名 ①グルメ&ダイニングスタイルショー ②国際ホテル・レストランシ ③INTER-FOOD JAPAN 居酒屋産業展	1,561
13	(株)石川そば製粉 所 半田耕一	技術高度化支 援事業	超氷温領域での玄そば保存技術の確立	5,000
14	(公財)栃木県農 業振興公社	農商工連携支 援機関助成事 業	①新農業ビジネス創出セミナー ②いちごプロジェクト推進事業 ③米粉ビジネス創出事業 ④販路開拓支援事業	471
15	栃木県中小企業 団体中央会	農商工連携支 援機関助成事 業	農商工連携人材フォローアップ事業 実践的農商工連携等セミナーの開催	606
16	(公財)栃木県産 業振興センター	農商工連携支 援機関助成事 業	アグリフード EXPO 東京 2012 への出展 出展企業：(株)横倉本店・笠原産業 (株)白相酒造・(有)釜屋	458
計				22,608

(2) フードバレー「売れる」商品づくり支援事業

新商品の企画段階から商品開発、商品化、販売に至るまで、食品流通の専門家のアドバイスにより、「売れる」商品づくりを支援した。

① 無料相談会

回	開催月日	相談企業数	相談事例
1	6月6日	15企業	○ 主な相談商品 ・野州餃子 ・日光とろゆば・半熟味付け卵・日光きざみゆば等 ・あとひきメンチ ・ロールケーキ&マカロン ・北海道納豆・国産鈴丸納豆 ・栃木県産ドライトマト
2	10月15日	13企業	○ 主な相談商品 ・栃木県大田原産「栃木三鷹(唐辛子)」を用いた調味料 ・ブルーベリーチーズケーキ ・ナチュラルフルーツ、ポテト入り焼きそば、焼きそばソース等 ・しいたけ商品(めんつゆ・しょうゆ・カレー・餃子等) ・ギャバ味噌・甘酒 ・バラエティーチーズ 11種 ・CANDY PASTE ・尚仁沢百年湧水 日光の恵み

回	開催月日	相談企業数	相談事例
3	1月30日	10企業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主な相談商品 ・ さつまいも・かぼちゃマッシュ ・ 三升漬（栃木県産日光唐辛子を用いた商品） ・ 和楽焼（薄焼き餡サンド） ・ オニオンスキードレッシング・厚焼き玉子 ・ ジャム（ルバーブ・ラフランス・ブルーベリー・いちじくなど） ・ 栃木しゃも肉・しゃも燻製
<p>○ 相談内容</p> <p>「売れる」商品にするためにはどうしたら良いかといった相談会である。</p> <p>新日本スーパーマーケット協会の登録専門家により、継続支援が可能な商品であるか否かを判断した。</p> <p>継続支援が可能な商品については個別支援に移行し、個別支援が不可能な商品については、商品開発、販路開拓等に関する留意点を登録専門家がアドバイスシートとして作成し、当該相談企業にフィードバックしている。</p> <p>アドバイスシートの送付は、第1回が6企業、第2回が7企業、第3回が8企業で合計21企業に送付した。</p>			

②個別支援

支援企業数（回）	支援事例
25企業 うち継続13企業 （79回） （うち継続36回）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 那須ポークの生姜肉みそ 個食向け商品の開発をアドバイス。高級スーパーのPB商品として商談中。 ○ ヨーグルト 地元食材等とのコラボ商品、コラーゲン入り商品の開発をアドバイス。試作開発中。 ○ 野州餃子 一口餃子や地元食材を活用した商品の開発をアドバイス。宇都宮産柚子を使用した商品を開発中。 ○ 北海道納豆・国産鈴丸納豆 量目を見直し使い勝手の良い個食サイズへのシフトをアドバイス。商品開発が完了し、スーパー等と商談中。 ○ 日光とろゆば・半熟味付け卵 ゆばの加工品をベースとした新商品開発についてアドバイス。日光おでんをテーマとして商品開発中。 ○ 栃木県産ドライトマト 価格設定・量目についてアドバイス。ワンコイン（500円）、土産用（1000円）のパックで試作品開発中。
<p>○ 支援内容</p> <p>無料相談会において継続支援となった案件について、商品開発のブラッシュアップ及び販路開拓等へのアドバイスを行ってた。</p>	

③ 販売実践サポート

回	開催月日	相談企業数	相談事例
1	7月6日	8企業	○ 主な商談商品 <ul style="list-style-type: none"> ・いちごおとめチーズケーキ ・那須ポークの生姜肉みそ ・フレッシュチーズ ・日光ラスク ・メグスリノキ ・スモークとうふ
2	10月5日	8企業	○ 主な商談商品 <ul style="list-style-type: none"> ・日光甚五郎煎餅、巾着袋せんべい ・茂木のゆず入りたまり漬け味よせ ・和菓子各種、日光ラスク ・みや餃子、ゆず餃子 ・乳製品(牛乳・ヨーグルト・ミルクコーヒー・アイスリム等) ・スモーク豆腐、御揚げメンチ、無添加ハム ・北海道納豆・国産鈴丸納豆 ・鮎魚醬「あゆっ醬」
○ 商談及びアドバイス内容等 新日本スーパーマーケット協会のコーディネーターが、スーパーマーケット等の3企業のバイヤーと参加企業との商談を実践させ、商品や商談の進め方についてバイヤーからのアドバイスをコーディネートした。			

(3) フードバレー販路開拓支援事業

全国に向けて県産品の販路開拓・拡大を支援するため、東京圏において開催される展示商談会への出展を支援した。

- ・展示会名 第47回スーパーマーケットトレードショー2013
- ・期 日 平成25年2月13日～15日
- ・会 場 東京ビッグサイト
- ・出展企業数 21企業

(公2) 中小企業の経営革新等に関する諸事業

5 経営基盤の強化

(1) 研修事業

県内企業に対する実践的ビジネス講座として、経営管理、生産管理及びISOに関する研修会・講演会を実施した。

また、青年経営者の育成を図るため、長期研修(9か月)による「経営リーダー育成塾(第7期生)」等を実施した。

① とちぎ21産業活力創造セミナー連絡協議会の開催

開催月日 8月20日 出席者 12名

② 研修の開催

ア 経営管理研修

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	経営実務研究会	1	6.28	50	43
2	経営リーダー養成講座	2	7.3 8.8	30	40
3	ヘルスマネージャー能力開発講座①	1	7.19	100	37
4	経営戦略講座	1	2.13	50	49
5	ヘルスマネージャー能力開発講座②	1	12.13	50	31
6	IT活用支援研修	2	2.22～23	30	13
7	BCP策定支援セミナー（基礎）	1	10.9	30	81
8	BCP策定支援セミナー（実践）	3	11.29	10	10
			1.17		10
			3.4		10

イ 経営人材育成研修

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	実践的企業財務管理	2	6.11～12	30	21

ウ 技術セミナー

㊦ ISO講座

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	ISO9000s 内部監査員養成講座①	2	7.23～24	24	31
2	ISO14001 内部監査員養成講座①	2	8.2～3	24	36
3	ISO9000s 内部監査員養成講座②	2	9.4～5	24	30
4	ISO14001 内部監査員養成講座②	2	9.13～14	24	36
5	ISO9000s 内部監査員養成講座③	2	9.25～26	24	32
6	ISO14001 内部監査員養成講座③	2	10.9～10	24	38
7	ISO9000s 内部監査員養成講座④	2	10.18～19	24	31
8	ISO22000 食品安全マネジメントシステム入門講座	2	11.1～2	24	8
9	ISO9000s 内部監査員養成講座⑤	2	11.13～14	24	32
10	ISO14001 内部監査員養成講座④	2	11.21～22	24	34
11	ISO14001 内部監査員養成講座⑤	2	12.6～7	24	18
12	ISO9000s 内部監査員養成講座(上級編)	1	12.11	24	8

㊧ 生産管理講座

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	原価管理とコストダウンの実践	2	6.21～22	30	33
2	品質改善実習セミナー	2	8.20～21	30	30
3	実践5Sの進め方	2	10.4 11.8	30	26
4	現場改善の基本とIE技法	3	10.23～24 11.7	30	26

エ 高度技術振興研修（高度技術振興事業）

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	購買原価革新セミナー	2	8.6～7	30	13
2	工程管理の基礎と応用システム	2	11.27～28	30	10
3	製造現場革新のためのC-TPM	1	12.18	30	14

オ 経営リーダー研修

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	経営リーダー育成塾(第7期生)	26	24. 6.15 ~25. 2.16	20	21
2	経営リーダー育成塾OB研修①	1	8.24	20	18
3	経営リーダー育成塾OB研修②	1	11. 9	20	14

カ 経済講演会 (経済団体新春経済実行委員会主催事業)

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	経済団体新春経済講演会	1	1.21	600	505

合計(32講座)	80	1,538	1,389
----------	----	-------	-------

(2) ものづくり中小企業若年技術者育成事業

県内の中小ものづくり企業に、雇用環境が厳しい新卒未就職者など若年者を雇用して技術・技能を習得させる研修を委託することにより、若年技術者の育成・確保を支援した。

業種	食料品製造業	飲料・たばこ・資料製造業	印刷・同関連業	金属製品製造業	電子部品・デバイス・電子回路製造業	電気機械器具製造業	酒類製造業	ソフトウェア業	計
委託企業数	2	1	1	5	2	3	6	1	21
雇用人数	2	1	1	5	2	3	6	1	21

(3) 情報化支援事業

中小企業が必要とする経営・技術の情報を収集して提供するとともに、情報化への対応を推進するため、各種支援事業を実施した。

- ① メールマガジンの発行 月3回
- ② 企業情報の発信 3,107企業
- ③ 産業振興センターホームページの管理運営 随時

(4) 競争力強化促進事業 (専門家派遣)

経営力の向上を目指す中小企業等が抱える経営、技術、情報化等の諸課題について、中小企業診断士等の専門家を派遣し、診断・助言を行った。

派遣企業数(回)	主な支援内容
25企業 (95回) うちC02 1企業2回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就業規則の策定及び人事評価制度の構築 ○ 新商品のデザイン開発支援 ○ 電気料金低減に向けた診断助言 ○ 経営改善計画書の策定

6 下請企業振興事業

(1) 受発注取引あっせん事業

県内産業の振興を図るため、受発注企業の設備、加工技術等、取引のあっせんに必要な情報の収集に努め、データベースの充実を図り、取引あっせん・受注開拓の強化を図った。

① 受発注取引の登録企業数

発注企業数	受注企業数	計
1, 280	2, 763	4, 043

② 受発注取引（個別）あっせん状況

発注申込数	受注申込数	あっせん件数
210	352	1, 145

③ 受発注取引関係相談件数

発注相談	受注相談	経営相談等	計
360	300	988	1, 648

④ 専門員による発注開拓

訪問企業数 969企業（うち新規60企業）

(2) 情報の提供事業

最新の受発注情報を集積・加工し、中小企業へ受発注情報を発信した。

- ① 産業振興センターホームページ 随時
- ② 産業振興センター情報誌「産業情報とちぎ」 3回（隔月発行）
- ③ 産業振興センターメールマガジン 月3回

(3) 展示・商談会の開催

各種の商談会を開催するとともに、展示会に出展し下請企業の受発注の拡大を図った。

回	商談会等名	開催月日	開催場所	参加企業数		商談件数
				受注	発注	
1	復興支援ビジネスマッチング交流会（第1回）	6月14日	産業交流センター	11	2	13
2	震災復興ビジネスマッチング商談会	7月18日	ホテル東日本宇都宮	94	38	408
3	関東5県ビジネスマッチング商談会	9月4日	東京ビッグサイト	189 (30)	61 (3)	777 (106)
4	とちぎ技術展示商談会(新規)	9月13日	日立アプライアンス 榑栃木事業所	36	1	—
5	下請中小企業震災復興特別商談会	9月20日	ビッグパレット福島	141 (7)	141 (0)	382 (19)
6	復興支援ビジネスマッチング交流会（第2回）	10月12日	産業交流センター	10	2	11

回	商 談 会 等 名	開催月日	開 催 場 所	参加企業数		商 談 件 数
				受注	発注	
7	ものづくり企業展示・商談会	11月13日	マロニエプラザ	178	32	261
8	復興支援ビジネスマッチング交流会（第3回）	11月16日	産業交流センター	14	2	18
9	第2回次世代ものづくり基盤技術産業展（新規）	11月28日 ～30日	ポートメッセなごや	16		
10	下請中小企業震災復興特別商談会	1月25日	産業貿易センター浜松町館	174 (25)	55 (1)	562 (80)
11	復興支援ビジネスマッチング交流会（第4回）	1月28日	産業交流センター	16	3	17
12	彩の国ビジネスアリーナ	1月30日 ～31日	さいたまスーパーアリーナ	3		
13	復興支援ビジネスマッチング交流会（第5回）	2月15日	産業交流センター	10	2	14

※（ ）内は栃木県内企業分

注：1 ものづくり企業展示・商談会

足利銀行主催、県内信用金庫・信用組合共催による展示・商談会に特別協力団体として参加した。

2 第2回次世代ものづくり基盤技術産業展（新規）

地域経済産業活性化対策事業（国庫補助事業）により、東日本大震災の影響による被災地域の復興のため、被災地企業の販路開拓を目的に実施するビジネスマッチングを支援することにより、風評被害を払拭し販路拡大を図った。

(4) 中小企業動向調査

販路開拓・拡大の参考とするため、登録受発注企業の景況等についてアンケート調査を実施した。

前期調査

- ・実施期間 平成24年7月20日～8月10日
- ・調査対象企業数 発注企業120企業、 受注企業580企業、 計700企業
- ・回答企業数（回答率） 発注企業 23企業（19.2%）
受注企業 174企業（30.0%）
計 197企業（28.1%）

後期調査

- ・実施期間 平成25年1月8日～1月25日
- ・調査対象企業数 発注企業：120企業 受注企業：580企業 計：700企業
- ・回答企業数（回答率） 発注企業 23企業（19.5%）
受注企業 198企業（34.0%）
計 221企業（31.6%）

(5) 受注確保特別相談窓口の設置

シャープ(株)栃木工場の事業縮小に伴う個別相談対応を行った。

相談件数 4件

7 知的財産支援事業

(1) 特許等取得活用支援事業

知財相談員（窓口担当1名、地域担当2名）を配置し、中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援及びアイデア段階から事業展開までの一貫した支援を行った。

① 利用者数

来訪：275人 訪問：511人 電話・Eメール：352人 計：1,138人

② 相談件数

	特許	実用新案	意匠	商標	外国出願	その他	計
センター窓口	727	525	505	731	70	98	2,656
1日知財相談窓口	57	16	8	32	0	9	122
計	784	541	513	763	70	107	2,778

③ 企業訪問による支援 357企業 511回

④ 知財専門家派遣による支援 13企業 13回

(2) 自治体知財コーディネート事業

中小企業の特許流通、技術移転や知的財産支援策などの普及・啓発を図りながら、中小企業等における知的財産活用及び事業化を支援した。

① 企業訪問指導件数 90件

② 来訪者面談指導件数 90件（来所：25件、電話・メール：65件）

③ 契約件数（実施許諾契約） 0件（契約に関するアドバイスは有り）

(3) 特許情報利用促進事業

特許など知的財産に関する情報を収集・提供するとともに、これを活用して中小企業の技術開発や事業化を支援した。

① 知的財産の各種支援制度説明 992件

② 技術シーズ等の情報収集・提供及びライセンス支援 419件

③ 地域ブランドに関する支援 67件

(4) 外国出願支援事業【新規】

地域中小企業の優れた技術等を外国において広く活用するための外国出願（特許、意匠、商標）に要する費用の一部を助成した。

採択状況

種別	企業名	所在地	出願内容
特許	(株)オプトニクス精密	足利市	経皮投与装置及びその製造方法
	(株)スズテック	宇都宮市	育苗容器重ね方法及び育苗容器重ね装置
商標	惣誉酒造(株)	市貝町	惣譽

(公3) 高度技術の開発及び利用の促進

8 技術の高度化

(1) 産学官連携研究開発事業

① 戦略的基盤技術高度化支援事業

中小企業のものづくり基盤技術（鋳造・切削・めっき等）の高度化を目指し、産学官により取り組む革新的な研究開発について、事業管理法人として研究の円滑な推進に努めた。

【事業実績】

テーマ1 「環境に優しい薄肉化耐熱鋳鋼鋳造装置の開発」

- 実施期間 平成22年度～平成24年度
- 研究機関 ㈱真岡製作所、栃木県産業技術センター
- 研究の概要

耐熱鋳鋼製品（ターボチャージャハウジング）を従来法より安価で、かつ、より低エネルギーの薄肉鋳造が可能となる斬新な機構を有する鋳造設備を開発し、川上製造業者のニーズである、薄肉化（軽量化）・低コスト化を可能にする。

- 研究スケジュール

H22 溶解炉傾動装置の開発・製作。試験型を用いた鋳造実験

H23 減圧吸引鋳造実験ラインの開発・製作。実部品型の作製・鋳造実験。実部品の切削特性研究

H24 鋳型移送搬送装置の開発・製作。実部品の評価試験。

テーマ2 「接合界面活性化と同時鋳込みによる超耐熱耐摩耗複合鋳鋼材の開発」

- 実施期間 平成23年度～平成25年度
- 研究機関 日光金属(株)、宮本工業(株)、岩手大学
- 研究の概要

異種材料（特殊鋼、超鋼、セラミック）を安価に複合化する新鋳造技術により、耐熱性、耐摩耗性に優れた複合鋳造材を開発する。

- 研究のスケジュール

H23 接合界面活性化法の開発。同時鋳込み法の開発。接合界面評価技術の開発

H24 同上（継続）

② 産学官プロジェクト研究開発事業フォローアップ事業

経済産業省のプロジェクト研究開発事業の成果をより発展させるため、受託期間終了後に取り組む補完研究の円滑な推進を支援する。

【事業実績】

テーマ1 「任意形状付シームレス極細パイプの高精度加工技術の確立及び高効率製造装置の開発」

(H19～21 戦略的基盤技術高度化支援事業)

- 実施期間 平成22年度～平成24年度
- 研究機関 ㈱共伸、㈱チュウリツ、（日新製鋼(株)：H22まで）、
(独)産業技術総合研究所、栃木県産業技術センター

□ H19～21 委託研究結果の概要

継ぎ目のないステンレス製シームレスパイプを素材として用い、外径 0.18mm 以下の任意テーパ形状付極細パイプの成形技術の開発、ならびにその量産製造技術の開発を行うことにより、より刺通抵抗の低い注射針の成形技術を確立した。

□ 研究スケジュール

H22 平成19～21年度の成果を基にした最適加工条件の確立、最適素材の開発

H23 縮管加工によるパイプの真円度・加工キズ、加工時のスムーズな素材供給等の課題検討

H24 縮管加工技術の向上と、任意サイズの縮管加工技術の開発

テーマ2 「ガラス製マイクロレンズアレイ用ダイヤモンド金型の開発」

(H20～21 地域イノベーション創出研究開発事業)

□ 実施期間 平成22年度～平成24年度

□ 研究機関 トーメイダイヤ(株)、(株)協同インターナショナル、(株)エイディーディー (H24 から参画)、東京工業大学、栃木県産業技術センター

□ H20～21 委託研究結果の概要

次世代モバイル型液晶プロジェクターの製品化に必要な実効開口率80%のマイクロレンズアレイを実現するため、ホットプレス成形に耐えうる硬度と高精度な形状制御特性を持つ、量産に対応したガラス製マイクロレンズアレイ用ダイヤモンド金型を開発した。

□ 研究スケジュール

H22 シリコン製金型マスターの超微細加工技術、大面積(4インチ)のダイヤモンド成膜技術等の開発

H23 「ホットプレス温度」と「ガラスプレス製品の品質」との関係等の検討

H24 「ダイヤモンド金型の材料品質」と「ガラスプレス製品の離型性」との関係等の検討

(2) 高度技術振興事業

地域企業の技術基盤の強化、創業や新分野展開などを支援した。

① 人材育成事業 (再掲)

研究開発人材養成のための研修を実施した。

- ・ 高度技術研修 (生産管理) 3 講座
- ・ 技術セミナー (ISO講座、生産管理研修) 16 講座

② サポートユアビジネス事業

高度技術産学連携地域 (5市4町:宇都宮市・鹿沼市・真岡市・日光市・下野市・上三川町・芳賀町・壬生町・高根沢町)の中小企業等が実施する新製品・新技術開発及び販路開拓等に要する経費の一部を助成した。

No.	企業名	所在地	事業概要	助成額 (千円)
1	(株)鎌田スプリング	鹿沼市	鳥獣害被害防止の忌避具「いやがらす連」の開発	429
2	(株)カナメ	宇都宮市	高強度縦葺き金属屋根材の開発	320
3	雷電テクノ(株)	鹿沼市	小水力発電用自動除塵機	718
4	(有)ヨコタ	真岡市	モバイル端末の入力デバイス化、及び送信データを統合する準仮想化サーバー間のインターフェースデバイスのパッケージ化	1,500
5	MAROOUP (まろアップ) 泉 登貴子	宇都宮市	外国人研究者・労働者・留学生向け日本語アプリケーションの開発	1,296
6	(株)古賀	鹿沼市	ものづくりの省エネ化の為の加速度(振動)センサー及びアンプ開発	1,500
7	はやき風(株)	さくら市	コウモリ(アブラコウモリ)駆除の適切な方法の開発及びコウモリハウスの有効性について	709
8	(株)鈴矢電機サービス	宇都宮市	空気圧縮式熱風発生機による農作物の栽培・保存技術の開発	304
9	東都工業(株)	宇都宮市	乳児用喘息患者用呼気中NO測定装置のための高感度化学発光検出機構の開発	1,500
10	カクヤス商販(株)	矢板市	自然薯を栃木県の特産にするための、自然薯地上栽培による栽培技術等の研究。ならびに、新たな食材としてのジャンボむかごの栽培技術等の研究	1,500
11	帝京大学(理工学部)	宇都宮市	微生物観察衛星“TeikyoSat-3”プロジェクトにおけるミッションモジュールの設計開発	547
計				10,323

注:「7 はやき風(株)」及び「11 カクヤス商販(株)」は、宇都宮大学との共同研究事業のため高度技術産学連携地域内扱いとした。

(3) 地域技術起業化推進事業

大学と地域企業、川上中小企業と川下大企業の交流等による技術移転や新たな事業起こしを促進するとともに、新技術新製品の市場展開を支援した。

① サポートユアビジネス事業

高度技術産業連携地域(5市4町)外の中小企業が実施する創造的な技術や製品等の研究開発に要する経費の一部を助成した。

No.	企業名	所在地	事業概要	助成額 (千円)
1	(株)錦エンジニアリング	栃木市	河川水・海水等の可搬型浄水装置の開発	1,000

② 起業化普及・交流事業

大学等の技術力と研究助成事業を活用した中小企業の研究開発促進を目的とした「研究資金獲得・産学交流セミナー」及び「研究・技術開発等に関する支援制度等説明会」を開催した。

(A) 研究資金獲得・産学交流セミナーの開催

開催月日	場 所	参加者数	内 容
11月5日	足利工業大学	33名	○ 研究開発における補助金利用のすすめ ○ 会場大学の産学連携支援の紹介 ○ 県内大学との産学連携支援の紹介 ○ 産業振興センター・県補助金の紹介 ○ 国の助成事業の紹介 ○ 研究資金獲得に向けた支援の紹介 ※会場大学等の相談コーナーを開設
11月14日	宇都宮大学	49名	〃
11月20日	国際医療福祉大学	33名	〃

(B) 研究・技術開発等に関する支援制度等説明会

開催月日	場 所	参加者数	内 容
2月18日	栃木県産業技術センター多目的ホール	171名	○ 研究・技術開発に関連する補助金・委託費等について ・(公財)栃木県産業振興センター、栃木県 ・関東経済産業局 ○ 研究・技術開発に関連する支援について

(4) 世界一を目指す研究開発助成事業

県内ものづくり産業や理工系大学等高等教育機関の若手研究者(40歳未満)が行う「小さくとも世界一の技術等の開発を目指す研究」を支援し、県内ものづくり産業の振興と人材育成を図った。

No.	交付の相手方	代表研究者及び研究開発テーマ	助成額 (千円)
1	小山工業高等専門学校	西井 圭 (講師) 「錯体触媒と余剰化石資源を用いた環境配慮型材料合成」	700
2	国際医療福祉大学	藤田順之 (講師) 「椎間板変性の分子生物学的メカニズムの解明ー有効な腰痛改善薬を目指してー」	683
3	宇都宮大学工学研究科	八巻和宏 (助教) 「高温超伝導体ウィスカーを用いた世界一の高出力小型テラヘルツ発振器の開発」	600

Ⅱ 収益事業等

(他1) 小規模企業者等設備導入資金事業等の未収債権回収事業

1 小規模企業者等設備導入資金事業

小規模企業者等の設備導入に対する設備資金の貸付及び設備の貸与（割賦・リース）事業については、当面休止し、既存貸付企業に対する債権管理業務のみを実施した。

【事業実績】

(1) 完了検査（資金貸付）	2件
(2) 事後指導（資金貸付）	20件
（設備貸与）	44件
計	64件
(3) 利用状況調査（資金貸付）	62件
（設備貸与）	39件
計	101件
(4) 債権管理（資金貸付）	2件
（設備貸与）	10件
計	12件

【債権の状況】

資金区分	平成24年度期首		平成25年3月末	
	件数	残高(円)	件数	残高(円)
設備資金貸付事業	74	386,656,000	58	260,257,000
設備貸与事業（割賦）	12	54,988,406	8	23,315,587
（リース）	44	414,093,380	35	273,159,800
中小企業設備貸与事業（割賦）	0	0	0	0
（リース）	3	7,975,174	1	5,599,174
計	133	863,712,960	102	562,331,561

【上記のうち延滞債権】

資金区分	平成24年度期首		平成25年3月末	
	件数	残高(円)	件数	残高(円)
設備資金貸付事業	1	3,302,000	1	2,702,000
設備貸与事業（割賦）	1	12,676,579	1	11,751,958
（リース）	4	24,077,580	2	14,196,280
中小企業設備貸与事業（割賦）	0	0	0	0
（リース）	1	5,699,174	1	5,599,174
計	7	45,755,333	5	34,249,412

【債権管理に対する取り組み】

小規模企業者等設備導入資金用企業に対する事後指導や調査を実施するなど適切な債権管理に努めるとともに、延滞債権については、債務者及び連帯保証人への訪問調査・督促を行うことにより早期回収に努めた。取り組みの結果以下のような成果があった。

(株)BRIGHT MORNING STARは配当金の受取、(有)阿部鉄工所、(株)豊田は債務者からの回収、シグマサイバーテック(株)、(株)ヤナセストアーは連帯保証人からの回収を図った。

(他2) 産業情報の収集、提供事業（機関情報誌発行）

1 センター会員管理事業

センター会員を対象に次の各種情報提供・支援事業を行った。

(1) 会員に対する情報提供

【事業実績】

- | | |
|---------------------|----------|
| ① 機関情報誌「産業情報とちぎ」の発行 | 5回 |
| ② メールマガジンの発行 | 39回（月3回） |
| ③ 視聴覚教材の貸出 | 51件（随時） |
| ④ 会員講演会（プラザのつどい）の開催 | |

開催月日： 11月17日 来場者：95人

【会員数の推移】

区分	H24期首	加入	脱退	3月末現在
正会員	366	11	10	367
賛助会員	82	0	3	79
合計	448	11	13	446

Ⅲ 庶務事項

1 役員の就任

年 月 日	内 容
4月 1日	評議員に次のとおり就任した。 評議員 小林 一巳 栃木県産業労働観光部長（新任）
〃	役員に次のとおり就任した。 理事 伊藤 勤 (公財)栃木県産業振興センター理事長（新任） 理事 長嶋 敏夫 栃木県商工会連合会会長（新任） 理事 山口 敏之 栃木県産業労働観光部次長兼産業政策課長（新任）
6月 1日	評議員に次のとおり就任した。 評議員 井本 英夫 宇都宮大学理事（副学長）（新任） 評議員 菅井 俊郎 (公社)日本技術士会栃木県支部長（新任） 評議員 高井 徹 宇都宮市副市長（新任）
6月28日	評議員に次のとおり就任した。 評議員 渡辺 敏雄 栃木銀行常務取締役（新任）

2 会議の開催

年 月 日	内 容
4月 1日	書面による第1回理事会を開催
〃	書面による第1回評議員会を開催
5月29日	決算監査を開催
6月 1日	書面による第2回評議員会を開催
6月 8日	第2回理事会を開催
6月26日	第3回評議員会を開催
10月31日	第3回理事会を開催
11月16日	第4回評議員会を開催
3月 8日	第4回理事会を開催
3月22日	第5回評議員会を開催